

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

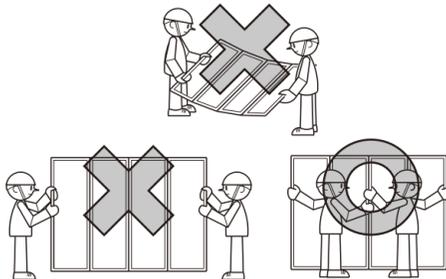
▲ 注意 ●組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 障子が脱落する原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・仮止め状態で障子の開閉などをしないでください。
 - ・補強ブラケットの調整ねじは、施工時に調整するものなので、組立て時には調整しないでください。
- 本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大95kg（屋根を含めると110kg）になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・組立て時、コーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてください。
 - ・ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

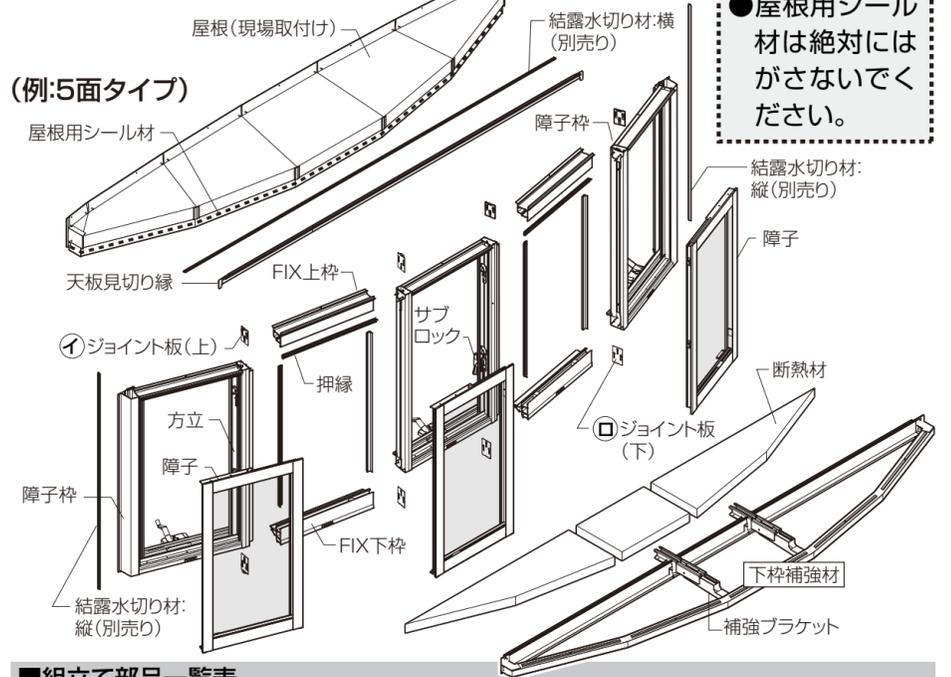
■組立て上のお願

- 本製品は、本体・屋根・障子・下枠補強材で構成され、それぞれ別梱包となっています。
- テーブル板は色・形状を選定するため、別売りとなっています。
- テーブル板と屋根の内側に雨がつかないようにしてください。製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 必ず下枠補強材を取付けて出窓を立てた状態で運搬してください。枠が変形するおそれがあります。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



■各部名称図

※図中の記号は、組立て部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。



▲ 注意
●屋根用シール材は絶対にはがさないでください。

■組立て部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	イ	ロ	ハ	ニ
名称	ジョイント板(上)	ジョイント板(下)	トラスタッピンねじφ4×16	平タッピンねじφ4×10
姿図				
使用箇所	障子枠-FIX上枠 方立-FIX上枠	障子枠-FIX下枠 方立-FIX下枠	下枠補強材-下枠	縦枠-水切り
袋表示	表示なし			

●障子組立て用

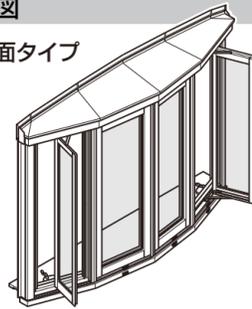
記号	ホ	ヘ
名称	ナベタッピンねじ φ4×25	皿小ねじM4×10
姿図		

●オペレーターハンドルセット

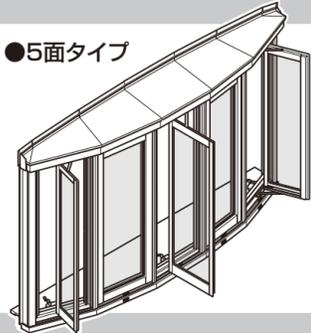
記号	ト	チ
名称	ハンドル	トラス小ねじM4×6
姿図		

■姿図

●4面タイプ

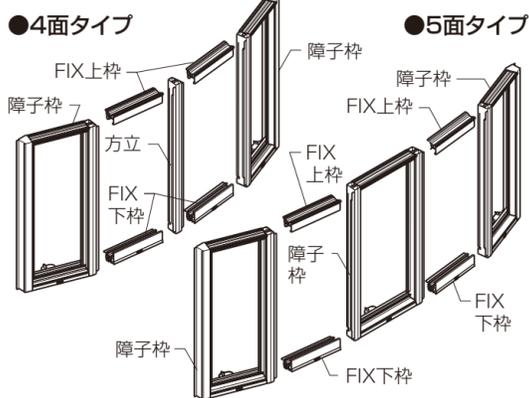


●5面タイプ

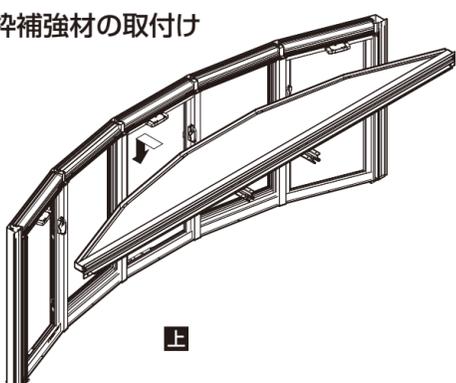


■組立て順序

1 FIX 上・下枠と障子枠の組立て



2 下枠補強材の取付け



■組立て詳細

※図中の記号は、組立て部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 FIX 上・下枠と障子枠の組立て

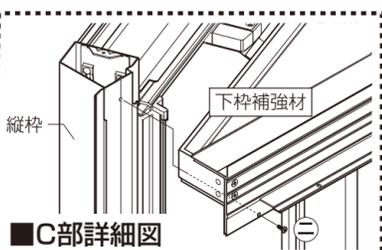
- ①障子枠-方立にFIX上枠を合わせてジョイント板(上)をハンマーなどで最後まで打込みます。
 - ②同様に、FIX下枠-ジョイント板(下)を取付けます。
- ※ジョイント板は、必ず最後まで打込んでください。屋根が取付けられなくなります。
- ※枠を上下に反転させるときは、FIX上・下枠が変形しないようにしてください。特に5面タイプの場合は、中央の障子枠を押えながら反転してください。
- ※気密ブロックは絶対に外さないでください。

2 下枠補強材の取付け

- ①下枠補強材から断熱材を取出します。
 - ②出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠および縦枠の加工穴に合わせてねじ止めします。
- ※組立てねじは③のねじを取付け後④のねじを取付けるようにしてください。

▲ 注意

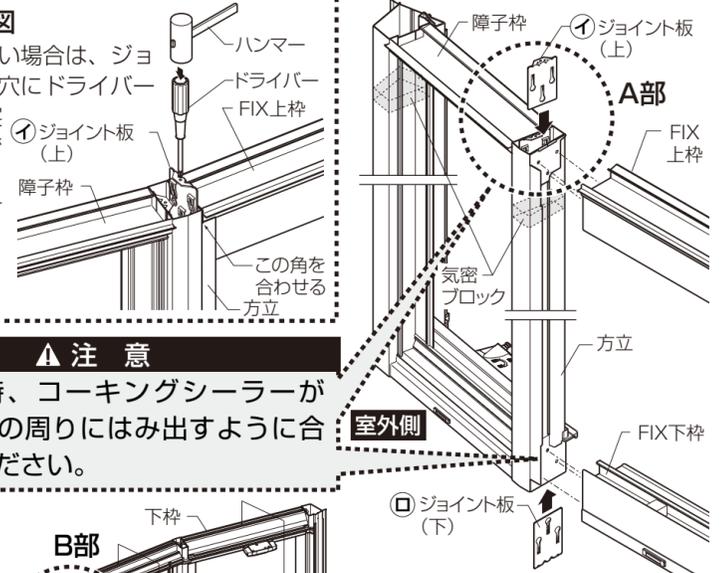
●補強ブラケットの調整ねじは、施工時に調整するものなので、組立て時には調整しないでください。



■C部詳細図

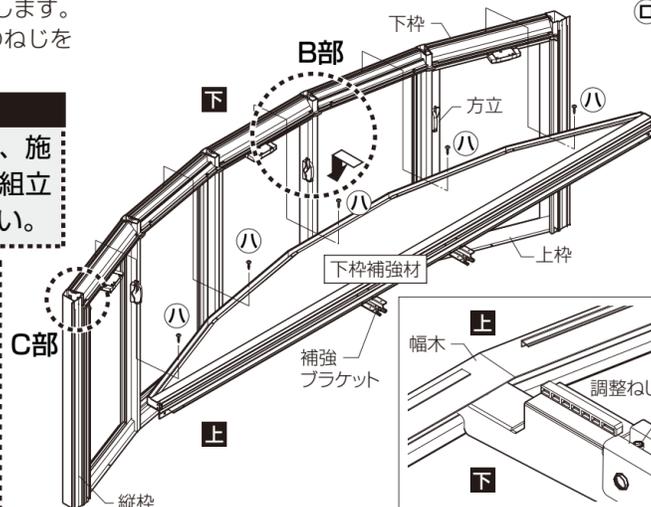
■A部詳細図

※打込みにくい場合は、ジョイント板の穴にドライバーを当て確実に打込んでください。屋根が取付かなくなります。

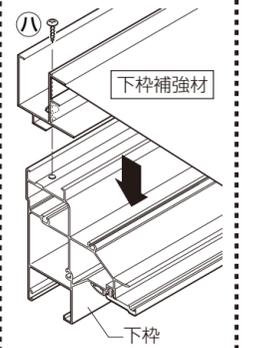


▲ 注意

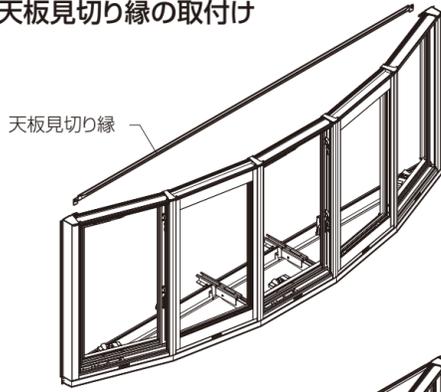
●組立て時、コーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてください。



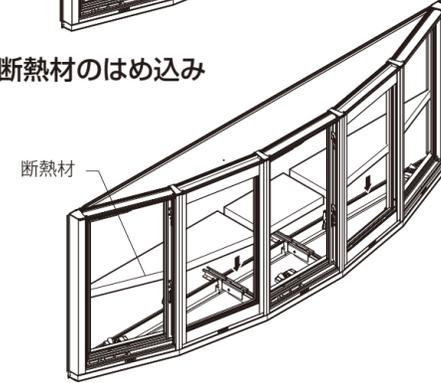
■B部詳細図



3 天板見切り縁の取付け

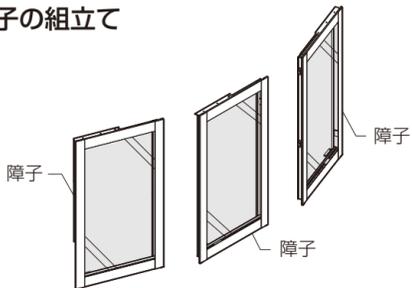


4 断熱材のはめ込み

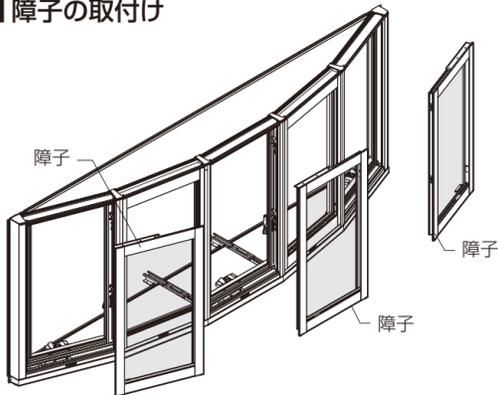


5 結露水切り材(別売りの)取付け (使用する場合のみ)

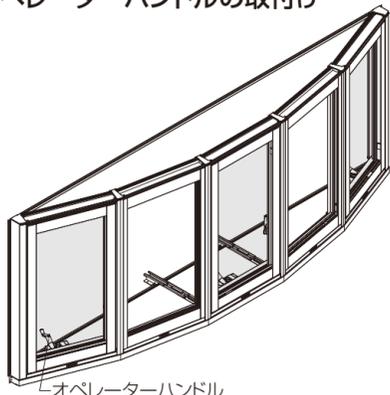
6 障子の組立て



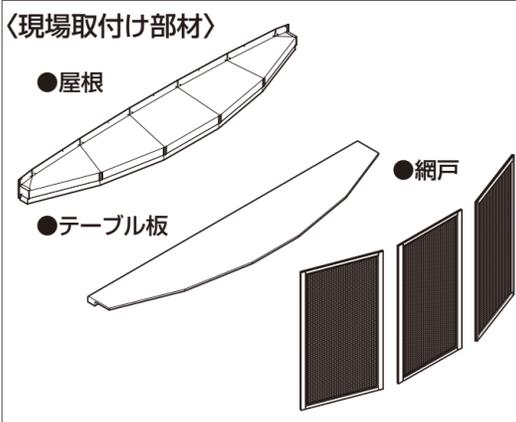
7 障子の取付け



8 オペレーターハンドルの取付け

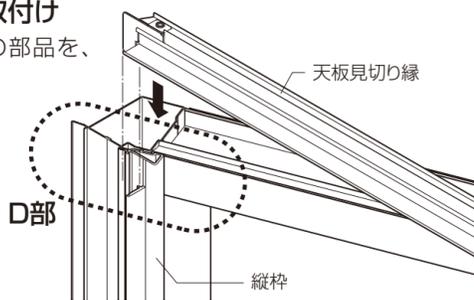


9 障子の開閉確認



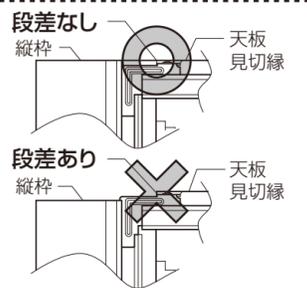
3 天板見切り縁の取付け

- 天板見切り縁両端の部品を、縦枠に差込みます。



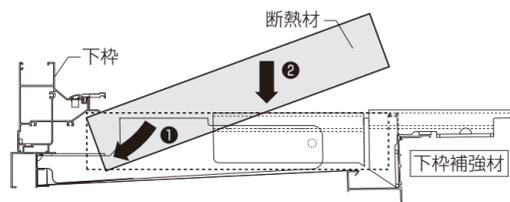
■D部詳細図

※天板見切り縁を奥まで差込み、天板見切り縁と縦枠の端面との間に段差がないことを確認してください。



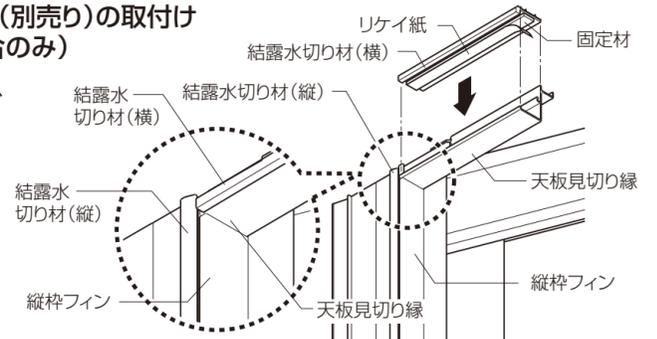
4 断熱材のはめ込み

- 2①で取出した断熱材を下枠補強材へ押込みます。



5 結露水切り材(別売りの)取付け (使用する場合のみ)

- ①結露水切り材を、本体に合わせて切断します。
- ②固定材のリケイ紙をはがし、縦枠フィン・天板見切り縁の順に圧着します。



6 障子の組立て

① グレイジングチャンネルの取付け

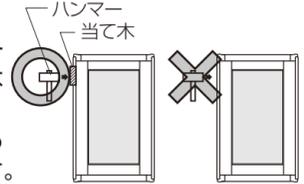
- ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売りの)を用意し、ガラス4周に回します。
- ※コーナー部はグレイジングチャンネルがくい込まないようにしてください。

② 障子の組立て

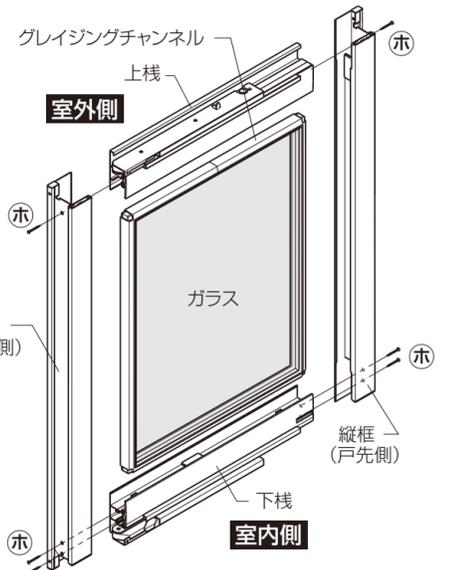
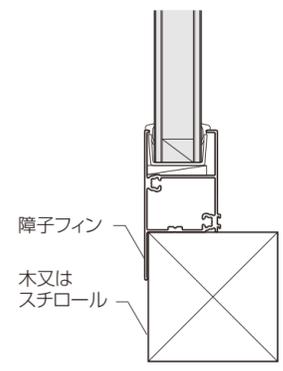
- ①上下棧を左右均等になるように差込みます。
- ②縦枠を差込み、上下棧とねじで固定します。

・お願い

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。



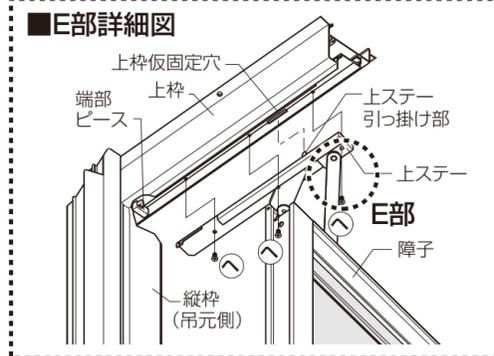
※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



7 障子の取付け

- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
 - ②上ステーの引っ掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。
 - ③下ステーを下枠にのせた後、上下棧(吊元側)の端部ピースに上・下ステーを差込みます。
 - ④E部のねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
 - ⑤残ったねじをすべて固定します。
- ※逆の手順で障子を取外せます。

■E部詳細図

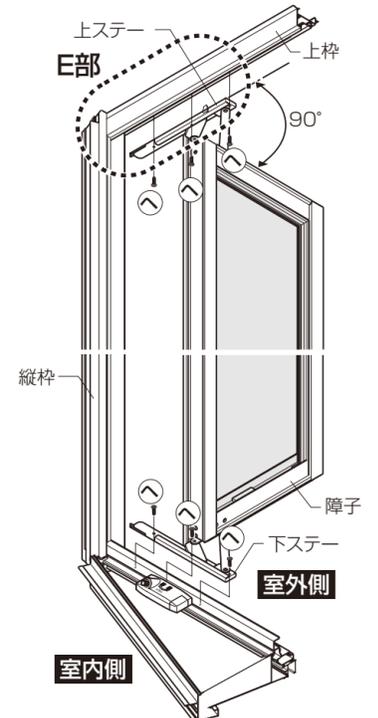
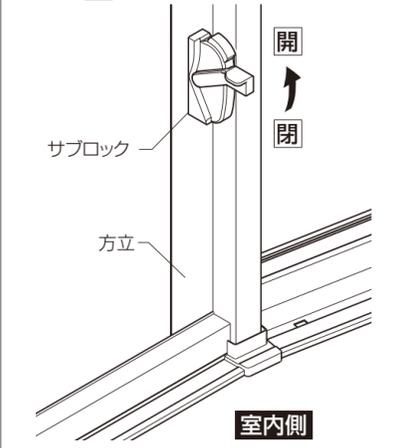


▲注意

●仮止め状態で障子の開閉などをしないでください。

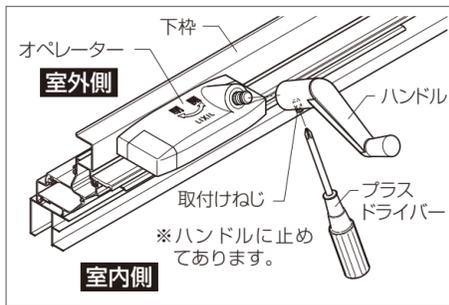
■サブロックの開閉位置

※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

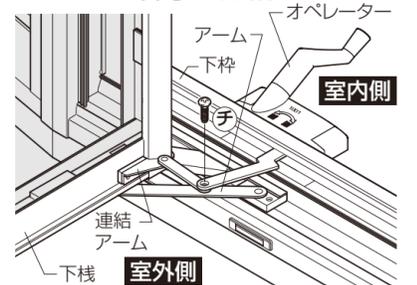


8 オペレーターハンドルの取付け

- ①ハンドルをオペレーターの軸に差込み、ねじ止めします。
- ※ハンドルは障子を閉めた状態で、上向きにして取付けてください。
- ※ねじ締めの際は、 $2.0 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($20 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$) のトルクで止めてください。
- ②ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
- ③オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。



■アームと障子の連結



9 障子の開閉確認

- ①オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
 - ②連動バーが障子縦枠のロックピンに引っ掛かるかどうか確認します。
- ※引っ掛からない場合は、右記の要領で調整してください。

■ロックピンの調整

- ロックピン取付けねじをゆるめ、障子の引寄せ量を調整してください。

